

ふれあい情報

2017年 3月24日 (金) 第250号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ> 「退職者連合」で検索してください。



▲2017年度運動方針(原案)などを決めた第4回幹事会。立ってあいさつしているのは阿部会長。(3月15日、連合本部8階三役会議室)

2017年度運動方針、2017年政策・制度要求の原案決まる

退職者連合 阿部会長、全組織での検討を要請

退職者連合は、3月15日に連合本部で開いた第4回幹事会で、7月に開催する第21回定期総会に向けて2017年度運動方針と2017年政策・制度の「年度要求」、低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求についてそれぞれ原案を確認しました。三案は、構成組織での検討を経た後、5月17日の第5回幹事会で整理されることとなります。阿部保吉会長は、この日確認された方針案と政策要求案について、産別・関連退連と地方退連でしっかりと検討し、意見等を本部に寄せるよう要請しました。なお、三つの原案は、翌16日に構成組織に送付されました。(資料は、退職者連合ホームページを参照ください)

2017年度運動方針

原案の提案の中で菅井義夫事務局長は、①社会保障制度での負担増と給付削減は高齢者にとって命にかかわる問題②民主党との約束を反故にした自公政権の責任は重い③労働者を粗末にしてきた雇用・労働政策は誤り④貧困層が拡大していると指摘。「雇用の安定なくして社会保障なし」と述べ、「何としても政治の現状を変えなければ」と強調しました。

雇用の安定なくして社会保障なし

さらに菅井事務局長は、絶対多数に胡坐をかき、野党からの批判や追及に対しては、時にははぐらかし、時には攻撃的な口調で強弁し続けているとして安倍総理の政治姿勢を厳しく批判。運動方針のポイントとして「政策の誤りが高齢者の考えを示しました。

政策関連要求案は合同専門委員会 で検討

2017年度政策・制度要求(年度要求)と低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求の原案は、幹事会前に開かれた合同専門委員会(年金専門委員会と医療・福祉専門委員会)で検討されました。幹事会はその結果を受けて要求原案を確認しました。幹事会で決まった三つの原案は、5月8日までに構成組織で検討され、5月17日の幹事会で意見を集約。6月14日の第6回幹事会で第21回定期総会議案としてまとめ上げられます。なお政策関連については、連合総合政策局との最終摺り合わせを経てまとめられます。



▲(写真上)登壇した弁士のみなさん。左から青山理恵子氏(NACS最高顧問)、広瀬隆氏(全国青年司法書士協議会会長)、新里宏二氏(弁護士)、宇都宮健児氏(弁護士、元日弁連会長)、塩原洋光氏(中央労福協次長)、新川眞一氏(カジノ問題を考える大阪ネットワーク事務局長)。円内は、退職者連合の菅井事務局長。(写真下)街宣力を発揮した連合本部宣伝カー。



カジノ賭博とは、一攫千金を夢見てギャンブル依存症となり、まともな市民生活もままならなくなる人が増えれば増えるほど儲かるビジネス。推進派の国会議員は有効な経済振興策だと主張しています。

退職者連合の菅井事務局長の司会でスタートしたこの日の街頭宣伝は、こうした推進派への批判も展開。

最初にマイクを握った全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会代表でもある新里宏二弁護士は「自殺や犯罪などギャンブル被害が増える。人の不幸を前提に成長戦略を描くのは愚かなこと。何としてもカジノ賭博の合法化をやめさせよう」とカジノ賭博推進派を厳しく批判しました。



詳しくは、退職者連合のホームページをご覧ください。

また元日弁連会長の宇都宮健児弁護士も「カジノ賭博合法化は成立したが、法律を施行するためには実施法が必要。この実施法の成立を何としても阻止してカジノ賭博解禁をストップさせなければならない」と訴えました。

許さないぞ！ カジノ賭博合法化

各代表がマイクを握り実施法の成立阻止訴え

退職者連合、日弁連、中央労福協が連携して街頭宣伝を実施

昨年12月15日未明に自民党・日本維新の会・公明党(一部)などの賛成により成立した「カジノ賭博合法化法」に反対するため退職者連合、日本弁護士連合会(日弁連)、中央労福協は、3月23日(木)午後5時から1時間にわたりJR有楽町駅・イトシア前で「許さないぞ！カジノ賭博合法化」キャンペーンを行いました。行動には、退職者連合の会員26人など各団体から合計47人が参加。都民にカジノ賭博廃止を強く訴えました。



▲カジノ賭博廃止を訴えるチラシを都民に手渡す退職者連合の会員のみなさん。